

環境学委員会・土木工学・建築学委員会合同分科会の設置について

分科会等名：長寿・低炭素化分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	環境学委員会 ○土木工学・建築学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	低炭素社会の実現は喫緊の課題である。一方で我が国には長寿化、人口減少、世帯構成などの急激な社会環境の変化が訪れる。このような社会ではこれまでの成長を仮定した対策とは異なる低炭素対策が重要になる。画一的に住宅・建築の性能を向上させるだけではなく、すまい方や働き方の変容を考慮して民生部門の低炭素化に関して議論を行う必要がある。分科会では、長寿化、健康寿命、人口減少、世帯構成などに関するこれまでの研究をレビューし、民生部門のエネルギー消費に及ぼす影響を明らかにする。それらを踏まえて、まちづくりを含めた健康で長寿な低炭素社会を実現する方策に関して検討する。環境学委員会と共同して議論を深める。具体的には以下のようなキーワードが考えられる。長寿社会、人生100年時代の住宅、すまいの省エネルギー・低炭素化、すまい方、働き方、健康寿命と低炭素社会、コネクテッド・カーとシェアエコノミーの影響、住宅・建築ストックと省エネルギー対策、人口減少、世帯構成の変化、など。
4	審議事項	1. 長寿化によるすまい方、働き方の変化に関する研究レビュー 2. 低炭素社会を実現するための検討すべき課題の明確化 3. アジアを含めた長寿・低炭素社会実現のためのシナリオ提示 に係る審議に関すること
5	設置期間	平成29年11月24日～平成32年9月30日
6	備考	※事実上23期からの継続